平成27年3月31日発行　（偶数月25日発行）

東京女子医科大学雑誌

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

医学部外科学（第2）講座　亀岡信悟教授退任記念特別号2

■原著

骨盤骨折を伴う重症多発外傷における
ダメージコントロールとしてのTAEの有用性について
—凝固線溶系，可溶性E-selectinを用いた評価—　……須賀弘泰・
中川隆雄・佐藤孝幸・出口善純・
堀江良彰・磯谷栄二…　E1–　E5

■報告

高度の食道裂孔ヘルニアに対して経皮内視鏡的胃瘻造設術が
有効であった心停止後症候群の1例 ……堀江良彰・
須賀弘泰・堀江栄子…　E6–　E9

幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後膵石による膵炎に対し
内視鏡的膵管切石術が有効であった1例 ……曽山鋼一・
神戸知充・岡村　悟・八田一葉・亀岡信悟…　E10–　E13

癌再発患者に対する十分な情報提供と
在宅療養への移行……平井栄一・石多猛志・石井雅之・
飯野高之・佐藤拓也・鬼澤俊輔・濱野美枝・
倉持英和・大石英人・中村　努・新井田達雄…　E14–　E18

Invasive Lobular Carcinoma of the Breast with Extensive Metastases:
An Autopsy Case Report（広範な他臓器転移を認めた
乳腺浸潤性小葉癌の1剖検例）……野口英一郎・
神尾孝子・江崎治朗・中島マリア美知子・神尾英則・
塚田弘子・大地哲也・澤田達男・亀岡信悟…　E19–　E26

2015
Vol.85 No.Extra 1

ISSN 0040-9022
東女医大誌
J Tokyo Wom Med Univ

85巻　臨時増刊1号　平成27年3月31日

東京女子医科大学学会
SOCIETY OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

慢性気道狭窄症状にて発見され胸部単純エックス線写真にて
指摘し得なかった慢性食道異物の1乳児例 ……川島章子・
世川　修・木村朱里・土屋晶義・
鬼頭由実・鈴木　悠・長谷川久弥・
杉原茂孝・成高義彦・亀岡信悟… E27- E33
術前CTにて膀胱ヘルニアを確認した2例……玉木雅子・大石英人・
谷　公孝・種市美樹子・金島研大・
李　慶徳・多田祐輔・塩澤邦久・
藤田竜一・飯田　衛・村田　順… E34- E38
Vater乳頭遠位十二指腸病変に対するPancreas-sparing Distal
Duodenectomy—3例の経験— ……速水　克・牛田進一郎・
中村　徹・鈴木一史・亀岡信悟… E39- E42
十二指腸粘膜下腫瘍との鑑別が困難であった
Groove Pancreatitisの1例……速水　克・牛田進一郎・
中村　徹・清水進一・大月寛郎・亀岡信悟… E43- E48
回腸異所性胃粘膜により繰り返し腸重積症をきたした
1乳児例 ……土屋晶義・世川　修・
川島章子・安田祐希・杉原茂孝・
山本智子・成高義彦・亀岡信悟… E49- E53
細菌性肝膿瘍から急性化膿性脊椎炎・腸腰筋膿瘍を併発するも
救命し得た1例 ……産形麻美子・番場嘉子・
廣澤知一郎・小川真平・板橋道朗・亀岡信悟… E54- E58
当院で経験した上部消化管造影検査後の
大腸穿孔3症例の検討 ……野上真子・平山亮一・
大塚　亮・澤　雅之・武　　仁… E59- E61
腹腔鏡下手術を施行した左子宮広間膜異常裂孔ヘルニアによる
絞扼性イレウスの1例 ……谷　公孝・藤田竜一・志鎌杏子・
種市美樹子・西久保俊士・李　慶徳・
玉木雅子・多田祐輔・塩澤邦久・
飯田　衛・村田　順・亀岡信悟… E62- E65
A Case of Ulcerative Colitis with Appendiceal Hemorrhage
（潰瘍性大腸炎の経過中に虫垂出血を来した1例）…中尾紗由美・
板橋道朗・番場嘉子・廣澤知一郎・
小川真平・亀岡信悟… E66- E70

■その他
日本PTEG研究会の設立と軌跡
—亀岡信悟会長に心からの感謝を込めて—……大石英人… E71- E75

あとがき…… E76

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY
(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Volume 85 Number Extra 1
March 31, 2015
ISSN 0040-9022

Society of Tokyo Women's Medical University
8-1, Kawada-cho, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-8666 Japan
Tel: 81-3-3353-8111 (ext. 22314) E-mail: gakkai.bi@twmu.ac.jp

Special Issue (II) in Honor of the Retirement of Professor Shingo Kameoka at the Department of Surgery II, Tokyo Women's Medical University

Original

Efficacy of TAE as a Damage Control Measure in Severe Multiple Trauma with Pelvic Fracture: Evaluation Utilizing the Coagulation-fibrinolysis System and Soluble E-selectin
Hiroyasu SUGA, Takao NAKAGAWA, Takayuki SATO, Yoshizumi DEGUCHI, Yoshiaki HORIE, Eiji ISOTANI E1–E5

Reports

A Case of Severe Sliding Hiatal Hernia in a Patient with Post Cardiac Arrest Syndrome Successfully Treated with Percutaneous Endoscopic Gastrostomy
Yoshiaki HORIE, Hiroyasu SUGA, Eiko HORIE E6–E9
Effective Treatment with Endoscopical Pancreatic Duct Lithotripsy for Pancreatic Stone Occurred Pancreatitis after Pylorus Preserving Pancreaticoduodenectomy
Koichi SOYAMA, Tomomitsu KANBE, Satoru OKAMURA, Kazuha HATTA, Shingo KAMEOKA E10–E13
Enough Informed Consent for Patient with Recurrent Cancer and the Induction to a Home Care
Eiichi HIRAI, Takeshi ISHITA, Masayuki ISHII, Takayuki IINO, Takuya SATO, Shunsuke ONIZAWA, Mie HAMANO, Hidekazu KURAMOCHI, Hideto OISHI, Tsutomu NAKAMURA, Tatsuo ARAIDA E14–E18
Invasive Lobular Carcinoma of the Breast with Extensive Metastases: An Autopsy Case Report
Eiichiro NOGUCHI, Takako KAMIO, Jiro EZAKI, Maria Michiko NAKAJIMA, Hidenori KAMIO, Hiroko TSUKADA, Tetsuya OHCHI, Tatsuo SAWADA, Shingo KAMEOKA E19–E26
Chronic Foreign Body of the Esophagus Undetected on Plain Chest Radiography: A Case in an Infant with Chronic Stridor
Shoko KAWASHIMA, Osamu SEGAWA, Shuri KIMURA, Masayoshi TSUCHIYA, Yumi KITO, Yu SUZUKI, Hisaya HASEGAWA, Shigetaka SUGIHARA, Yoshihiko NARITAKA, Shingo KAMEOKA E27–E33
Preoperative CT for Detection of a Bladder Hernia in Cases of Inguinal Hernia
Masako TAMAKI, Hideto OISHI, Kimitaka TANI, Mikiko TANEICHI, Kendai KANESHIMA, Kyeongdeck LEE, Yusuke TADA, Kunihisa SHIOZAWA, Ryoichi FUJITA, Mamoru IIDA, Jun MURATA E34–E38
Three Cases of Pancreas-sparing Distal Duodenectomy for Infrapapillary Duodenal Lesions
Masaru HAYAMI, Shinichiro USHIDA, Toru NAKAMURA, Kazufumi SUZUKI, Shingo KAMEOKA E39–E42

A Case of Groove Pancreatitis Mimicking Duodenal Submucosal Tumor
Masaru HAYAMI, Shinichiro USHIDA, Toru NAKAMURA,
Shinichi SHIMIZU, Yoshiro OTSUKI, Shingo KAMEOKA E43–E48
Recurrent Intussusceptions of Infancy Caused by Heterotopic Gastric Mucosa in the Ileum
Masayoshi TSUCHIYA, Osamu SEGAWA, Shoko KAWASHIMA,
Yuki YASUDA, Shigetaka SUGIHARA, Tomoko YAMAMOTO,
Yoshihiko NARITAKA, Shingo KAMEOKA E49–E53
Successful Treatment of Pyogenic Spondylitis and an Iliopsoas Abscess Arising as Complications of Bacterial Liver Abscess: A Case Report
Mamiko UBUKATA, Yoshiko BAMBA, Tomoichiro HIROSAWA,
Shimpei OGAWA, Michio ITABASHI, Shingo KAMEOKA E54–E58
Three Cases of Colon Perforation after Upper Gastrointestinal Series Using Barium Sulfate
Mako NOGAMI, Ryoichi HIRAYAMA, Ryo OTSUKA,
Masayuki SAWA, Hitoshi TAKE E59–E61
A Case of Strangulation Ileus Caused by Internal Hernia through a Defect in the Left Broad Ligament of the Uterus and Treated by Laparoscopic Surgery
Kimitaka TANI, Ryoichi FUJITA, Kyoko SHIKAMA,
Mikiko TANEICHI, Shunshi NISHIKUBO, Kyeongdeck LEE,
Masako TAMAKI, Yusuke TADA, Kunihisa SHIOZAWA,
Mamoru IIDA, Jun MURATA, Shingo KAMEOKA E62–E65
A Case of Ulcerative Colitis with Appendiceal Hemorrhage
Sayumi NAKAO, Michio ITABASHI, Yoshiko BAMBA,
Tomoichiro HIROSAWA, Shimpei OGAWA, Shingo KAMEOKA E66–E70

Other

History of the Japan Association for Percutaneous Trans-Esophageal Gastro-tubing (JA-PTEG)
Hideto OISHI E71–E75

Afterword E76

下記の企業(五十音順)には掲載協賛にご協力をいただき,ありがとうございました.
心から御礼申し上げます.

味の素製薬株式会社
アステラス製薬株式会社
エーザイ株式会社
小野薬品工業株式会社
杏林製薬株式会社
協和発酵キリン株式会社
サノフィ株式会社
ジョンソンエンドジョンソン株式会社
ゼリア新薬工業株式会社
第一三共株式会社
大正富山医薬品株式会社
大鵬薬品工業株式会社
武田薬品工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
株式会社ツムラ
日本化薬株式会社
ブリストル・マイヤーズ株式会社
株式会社ヤクルト本社

あとがき

本誌の臨時増刊号として，外科学（第2）講座亀岡信悟主任教授の退任記念特別号を，11月号と3月号に分け，2巻無事に発刊することができました.

総説1編，原著14編，症例報告16編，その他1編という内容になりましたが，この中から9名の医局員が亀岡教授を主査として学位授与に預かることができました．これも，ひとえに亀岡教授のご指導のたまものです．今回初めて論文作成に取り組んだ医局員も多く，ご多忙中にもかかわらず査読していただいた，本誌編集担当幹事長の澤田達男教授をはじめとする編集担当幹事の先生方には，非常に多大な時間を割いていただく結果となったことが推察されます．心より感謝いたします．また，発刊にあたり多大なご支援をいただいた学会室の村松一美さん，首藤真理さんに医局員一同より深謝し，編集後記とさせていただきます.

本当にありがとうございました.

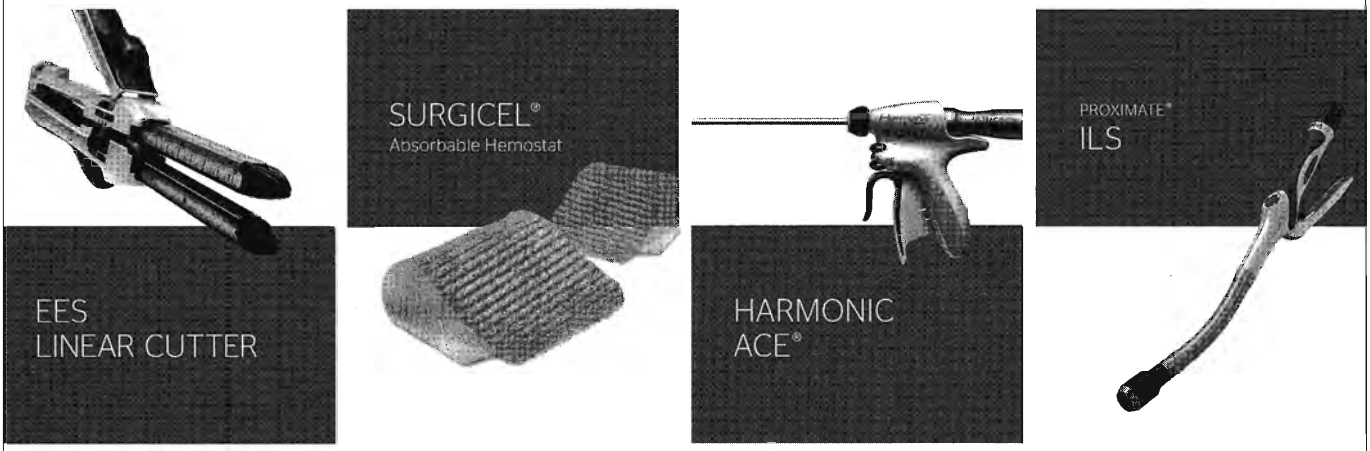
（亀岡信悟教授退任記念特別号　編集委員一同）

編集担当幹事：阿部光一郎　青見茂之　江川裕人○　遠藤弘良　渕之上昌平　萩原誠久
林　和彦　檜垣祐子　平澤恭子　石田英樹　神尾孝子　糟谷英俊
木林和彦　近藤暁子　小谷　透　松井英雄　野中　学　大貫恭正
斎藤加代子　坂元　薫○　櫻井裕之　澤田達男◎　篠崎和美　杉原茂孝
玉置　淳　田中淳司　谷口敦夫　徳重克年　内田啓子　内潟安子
山口直人　（ABC 順，◎幹事長，○副幹事長）

東京女子医科大学雑誌 85 巻臨時増刊 1 号
医学部外科学（第 2）講座　亀岡信悟教授退任記念特別号 2：平成 27 年 3 月 31 日発行
Journal of Tokyo Women's Medical University Vol. 85　No. Extra 1
Special Issue（II）in Honor of the Retirement of Professor Shingo Kameoka
at the Department of Surgery II, Tokyo Women's Medical University : March 31, 2015
発行者：吉岡俊正
発行所：東京女子医科大学学会
事務局：〒162-8666　東京都新宿区河田町 8-1　東京女子医科大学　中央校舎 3 階　学会室
Tel & Fax：03-5269-7403/E-mail：gakkai.bi@twmu.ac.jp
購読料：年会費 6,000 円に含む．1 冊定価 1,000 円（税・送料共）
振込先：（銀行振込）東京女子医科大学学会　会長　吉岡俊正
三菱東京 UFJ 銀行　東京女子医大出張所　普通 3643723
（郵便振替）東京女子医科大学学会　00150-4-4342
印　刷：株式会社杏林舎　〒114-0024　東京都北区西ヶ原 3-46-10　Tel：03-3910-4311/Fax：03-3949-0230
＊本誌の内容を無断で複写・複製すると，著作権・出版権の侵害になりますのでご注意ください．







ETHICON
PART OF THE Johnson&Johnson FAMILY OF COMPANIES

Better surgery for a better world

製造販売業者：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカル カンパニー　本社 〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号

高度管理医療機器 販売名：バイクリル プラス	承認番号 ：22000BZX01652000	一般医療機器 販売名：ダーマボンド アドバンスド	届出番号：13B1X00204ME000B	高度管理医療機器 販売名：サージレックス エンシールシステム	承認番号：21800BZY10087000
高度管理医療機器 販売名：PDS プラス	承認番号 ：22300BZX00333000	管理医療機器 販売名：J-VAC ドレナージ システム	承認番号：20200BZY00540000	高度管理医療機器 販売名：エンシール G2 ティシューシーラー	承認番号：22500BZX00547000
処方せん医薬品 販売名：サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット	医薬品承認番号：14700AMY00205000	管理医療機器 販売名：エンドパス トロッカーシステム	認証番号：21900BZX00882000	高度管理医療機器 販売名：ハーモニック ACE	承認番号：21800BZX10164000
高度管理医療機器 販売名：プロキシメイト ILS	承認番号 ：21900BZX00879000	管理医療機器 販売名：エンドスコピック パワード リニヤー カッター	承認番号：22500BZX00396000	高度管理医療機器 販売名：ハーモニック FOCUS	承認番号：22100BZX00832000
高度管理医療機器 販売名：EESジェネレーター	承認番号 ：22500BZX00119000	管理医療機器 販売名：EES リニヤー カッター ステイプラー	認証番号：223AABZX00075000		

ETHD0021-01-201405　®商標登録 ©J&JKK 2013-2014

AJINOMOTO®

処方せん医薬品注)

経口腸管洗浄剤

薬価基準収載

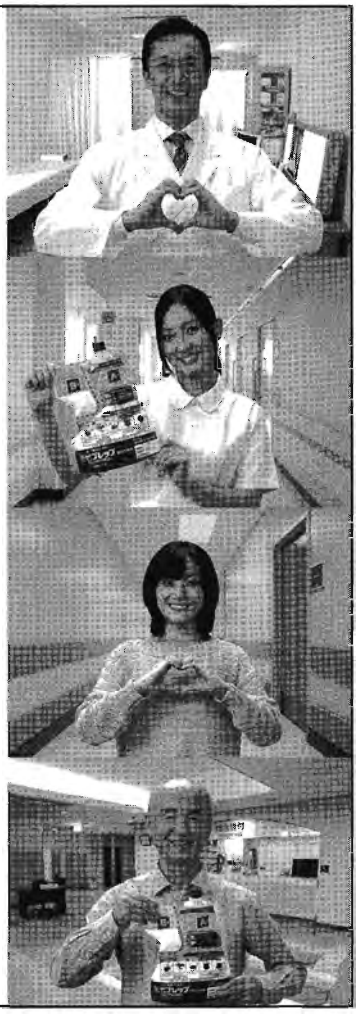
モビプレップ® 配合内用剤

MOVIPREP®

注)注意－医師等の処方せんにより使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

「モビプレップ」及び「MOVIPREP」は、Norgineグループの登録商標です。



製造販売
味の素製薬株式会社
〒104-0042 東京都中央区入船二丁目1番1号

〔資料請求先〕
味の素製薬株式会社 くすり相談
0120-917-719

2013年6月作成
MOV・JB52・0613・RD

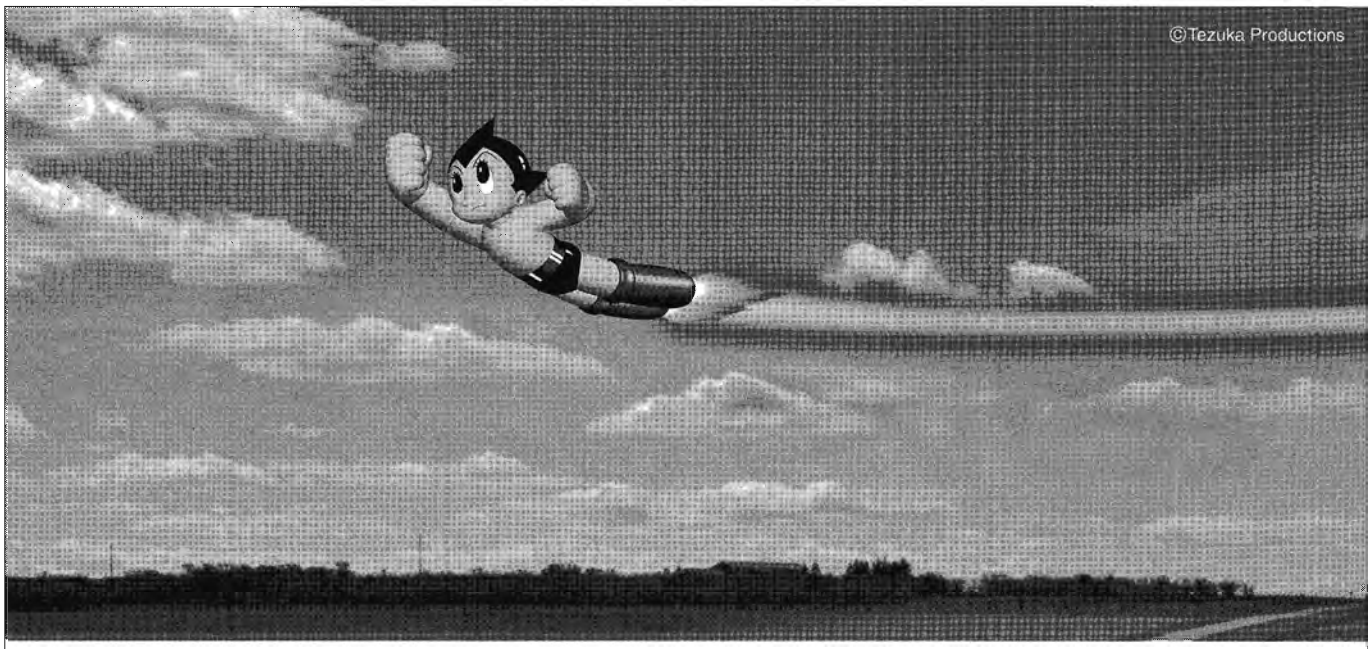
まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。
世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。
明日を変える一錠を創る。
アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。

astellas
Leading Light for Life
アステラス製薬

www.astellas.com/jp/

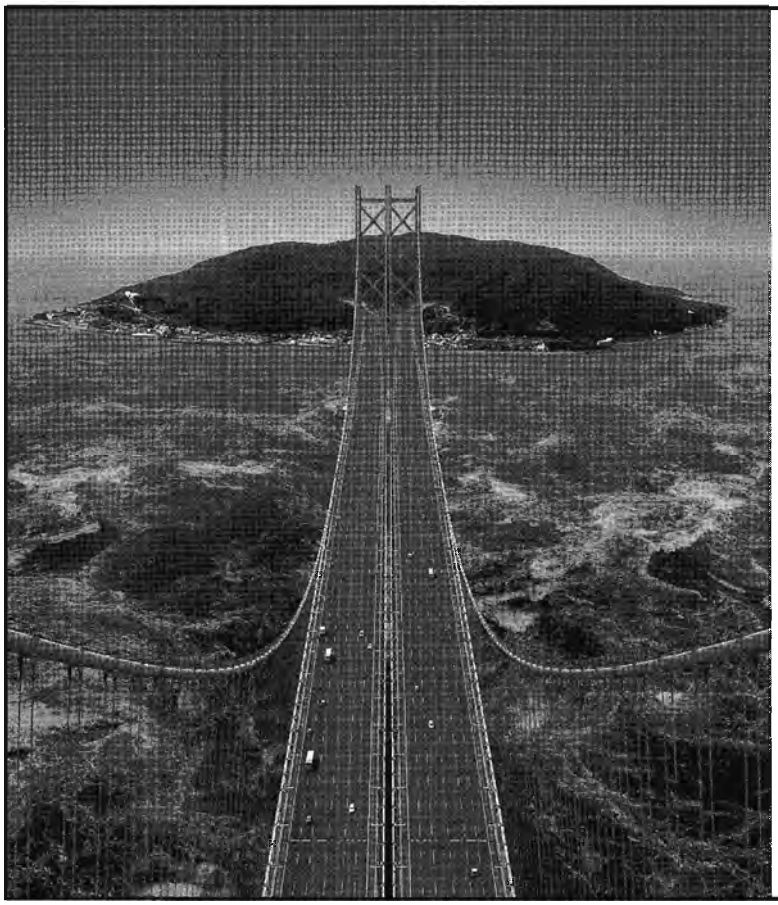


製造販売元 Eisai エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

商品情報お問い合わせ先: お客様ホットライン
0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

処方せん医薬品
注意－医師等の処方せんにより使用すること
プロトンポンプ阻害剤 [薬価基準収載]
パリエット® 錠10mg 錠20mg
〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉 www.pariet.jp

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意については、添付文書をご参照ください PRT1011M07



選択的NK1受容体拮抗型制吐剤 薬価基準収載
イメンド® カプセル125mg カプセル80mg カプセルセット
アプレピタントカプセル EMEND®
処方せん医薬品※) 注)注意－医師等の処方せんにより使用すること
® Registered Trademark of Merck Sharp & Dohme Corp., a subsidiary of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.

■ 効能・効果、用法・用量、及び禁忌を含む使用上の注意等、詳細は製品添付文書をご参照ください。

選択的NK1受容体拮抗型制吐剤 薬価基準収載
プロイメンド® 点滴静注用 150mg
注射用ホスアプレピタントメグルミン PROEMEND®
処方せん医薬品※) 注)注意－医師等の処方せんにより使用すること
® Registered Trademark of Merck Sharp & Dohme Corp., a subsidiary of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.

■ 効能・効果、用法・用量、及び禁忌を含む使用上の注意等、詳細は製品添付文書をご参照ください。

資料請求先
ONO 小野薬品工業株式会社
〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号
2013年3月作成



Kyorin

処方せん医薬品注)　薬価基準収載

潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤

ペンタサ®錠250mg

ペンタサ®錠500mg

PENTASA Tablets 250mg　PENTASA Tablets 500mg

一般名：メサラジン〔JAN〕

処方せん医薬品注)　薬価基準収載

潰瘍性大腸炎治療剤

ペンタサ®注腸1g*

PENTASA Enema 1g

一般名：メサラジン〔JAN〕

*ペンタサ注腸1gは製造販売（輸入）元です

処方せん医薬品注)　薬価基準収載

潰瘍性大腸炎・限局性腸炎治療剤

プレドネマ®注腸20mg

PREDONEMA Enema 20mg

一般名：プレドニゾロンリン酸エステルナトリウム〔JAN〕

注）注意－医師等の処方せんにより使用すること

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご覧下さい。

杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

〈資料請求先：くすり情報センター〉

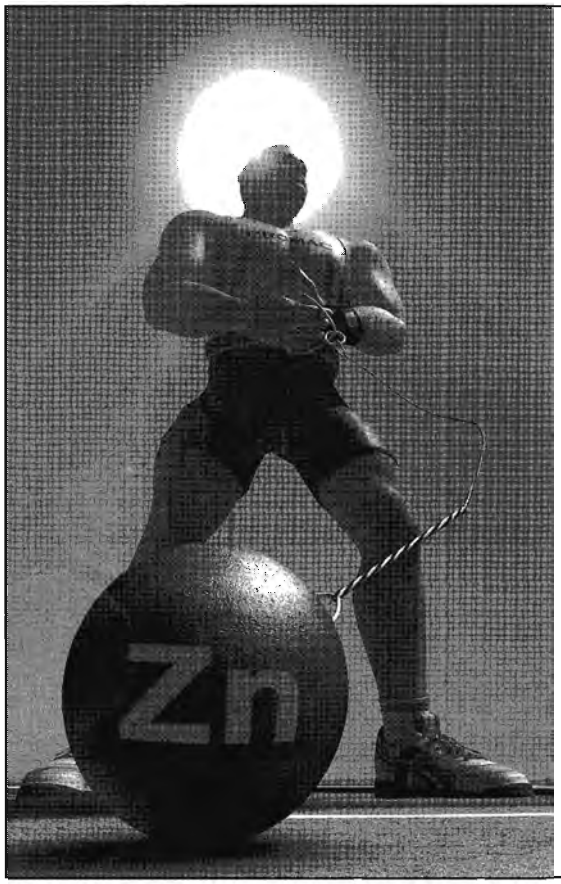


サノフィは、グローバルに多角的事業を展開するヘルスケアリーダーとして
患者さんのニーズにフォーカスしています。

SANOFI

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー　www.sanofi.co.jp



亜鉛含有胃潰瘍治療剤　Promac® D tablets 75・granules 15%

プロマック® D錠75

ポラプレジンク口腔内崩壊錠　薬価基準収載

プロマック® 顆粒15%

ポラプレジンク製剤　薬価基準収載

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

〔製造販売元〕〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
ゼリア新薬工業株式会社
〔資料請求先〕お客様相談室 ☎03(3661)0277



Lixiana™ edoxaban tablets

経口FXa阻害剤

15mg・30mg：薬価基準収載
60mg　：薬価基準未収載

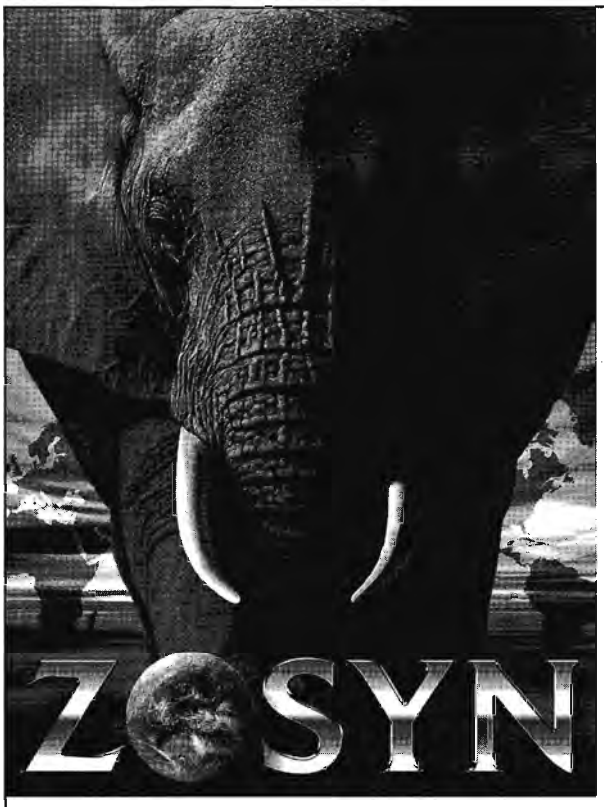
リクシアナ® 錠 15mg 30mg 60mg

一般名：エドキサバントシル酸塩水和物
処方箋医薬品　注意－医師等の処方箋により使用すること

※効能・効果、用法・用量および警告・禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

2014年9月作成



β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤

処方せん医薬品注)

薬価基準収載

ゾシン®静注用 2.25 4.5

ZOSYN® 注射用タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム（略 号 TAZ/PIPC）

注)注意－医師等の処方せんにより使用すること

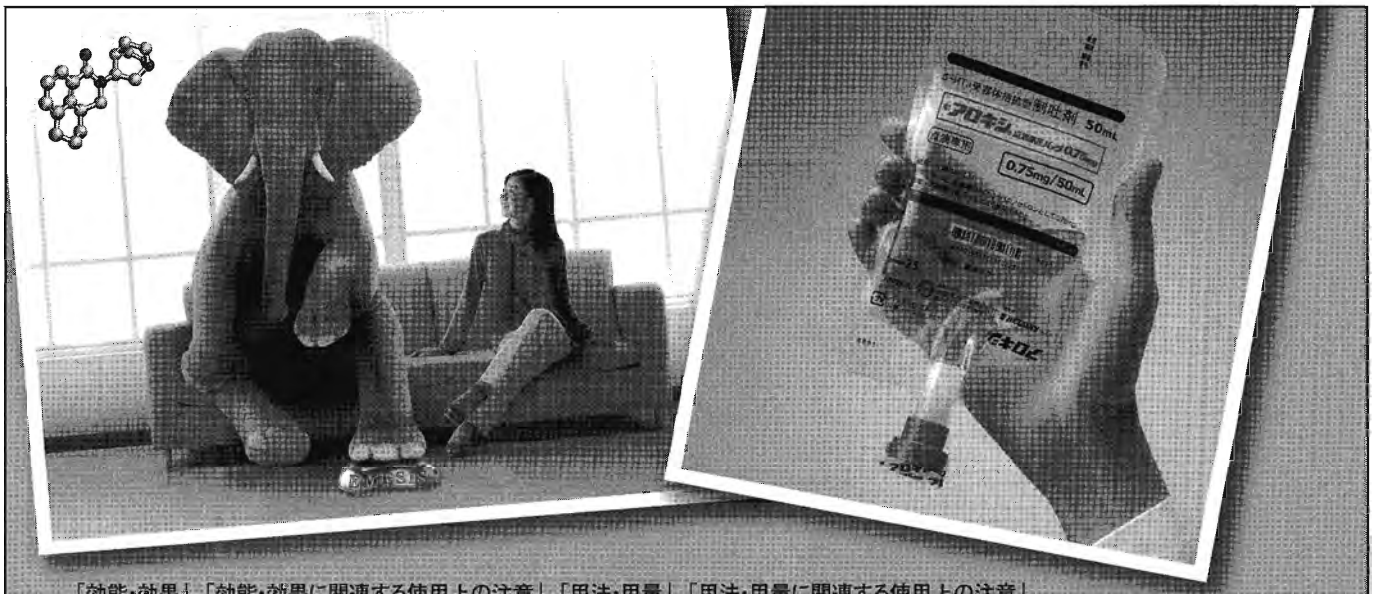
「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

発売［資料請求先］
大正富山医薬品株式会社
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

開発・製造販売
大鵬薬品工業株式会社
東京都千代田区神田錦町1-27

開発
富山化学工業株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-5

ZSNA42 2014.04



「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

5-HT3 受容体拮抗型制吐剤　劇薬、処方せん医薬品（注意－医師等の処方せんにより使用すること）　薬価基準収載

アロキシ®静注 0.75mg
Aloxi® I.V. injection 0.75mg

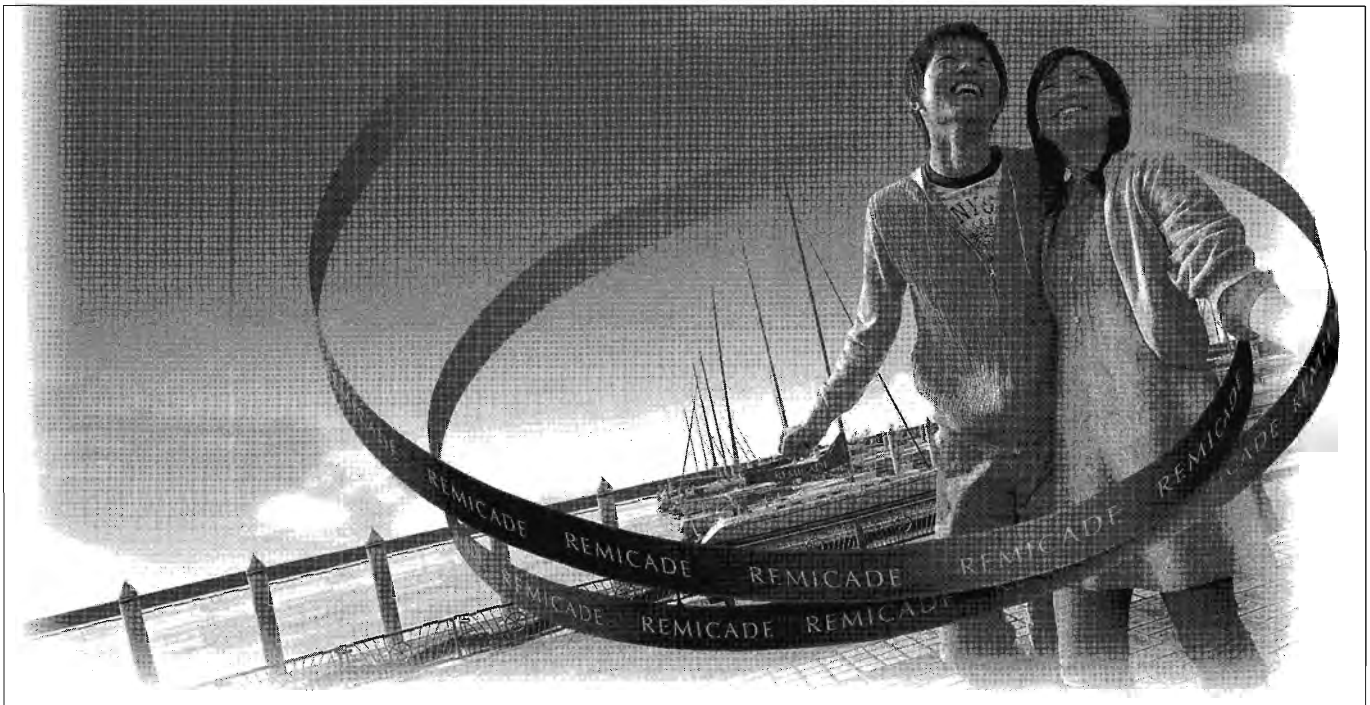
アロキシ®点滴静注バッグ 0.75mg
Aloxi® I.V. infusion bag 0.75mg

パロノセトロン塩酸塩注射剤

製造販売元
資料請求先
（医薬品情報室）
大鵬薬品工業株式会社
〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27
TEL.0120-20-4527 FAX.03-3293-2451
http://www.taiho.co.jp/

提携先 HELSINN スイス

2013年7月作成



抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤　薬価基準収載

レミケード®点滴静注用100

REMICADE® for I.V. Infusion100（インフリキシマブ（遺伝子組換え）製剤）

生物由来製品　劇薬　処方せん医薬品（注意-医師等の処方せんにより使用すること）

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元〈資料請求先〉
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区北浜2-6-18

2010年6月作成



株式会社ツムラ　http://www.tsumura.co.jp/

●資料請求・お問い合せは弊社MR、またはお客様相談窓口まで。Tel.0120-329-970

（2010年6月制作）

IT-3001

ブリストル・マイヤーズ株式会社は肝疾患などの深刻な病気を有する患者さんに貢献できるよう革新的な医薬品の開発、提供をこれまでも、これからも続けてまいります

ブリストル・マイヤーズ株式会社　ウイルス性肝炎治療製品ラインナップ

抗ウイルス剤／HCV NS5A複製複合体阻害剤　薬価基準収載

ダクルインザ®錠60mg

新発売

Daklinza Tablets（ダクラタスビル塩酸塩錠）

劇薬、処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

抗ウイルス剤／HCV NS3/4Aプロテアーゼ阻害剤　薬価基準収載

スンベプラ®カプセル100mg

新発売

Sunvepra Capsules（アスナプレビルカプセル）

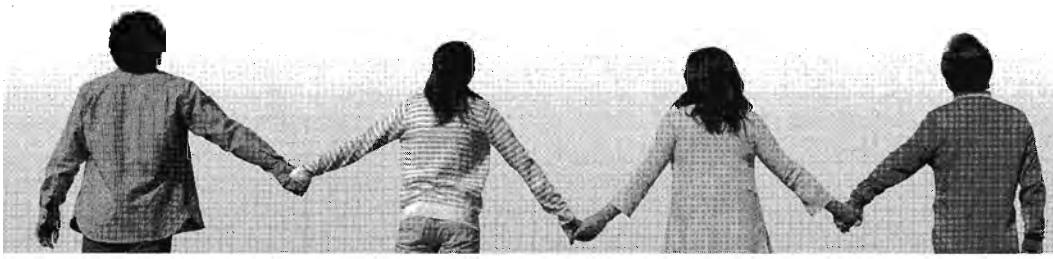
劇薬、処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

抗ウイルス化学療法剤　エンテカビル水和物錠

バラクルード®錠0.5mg

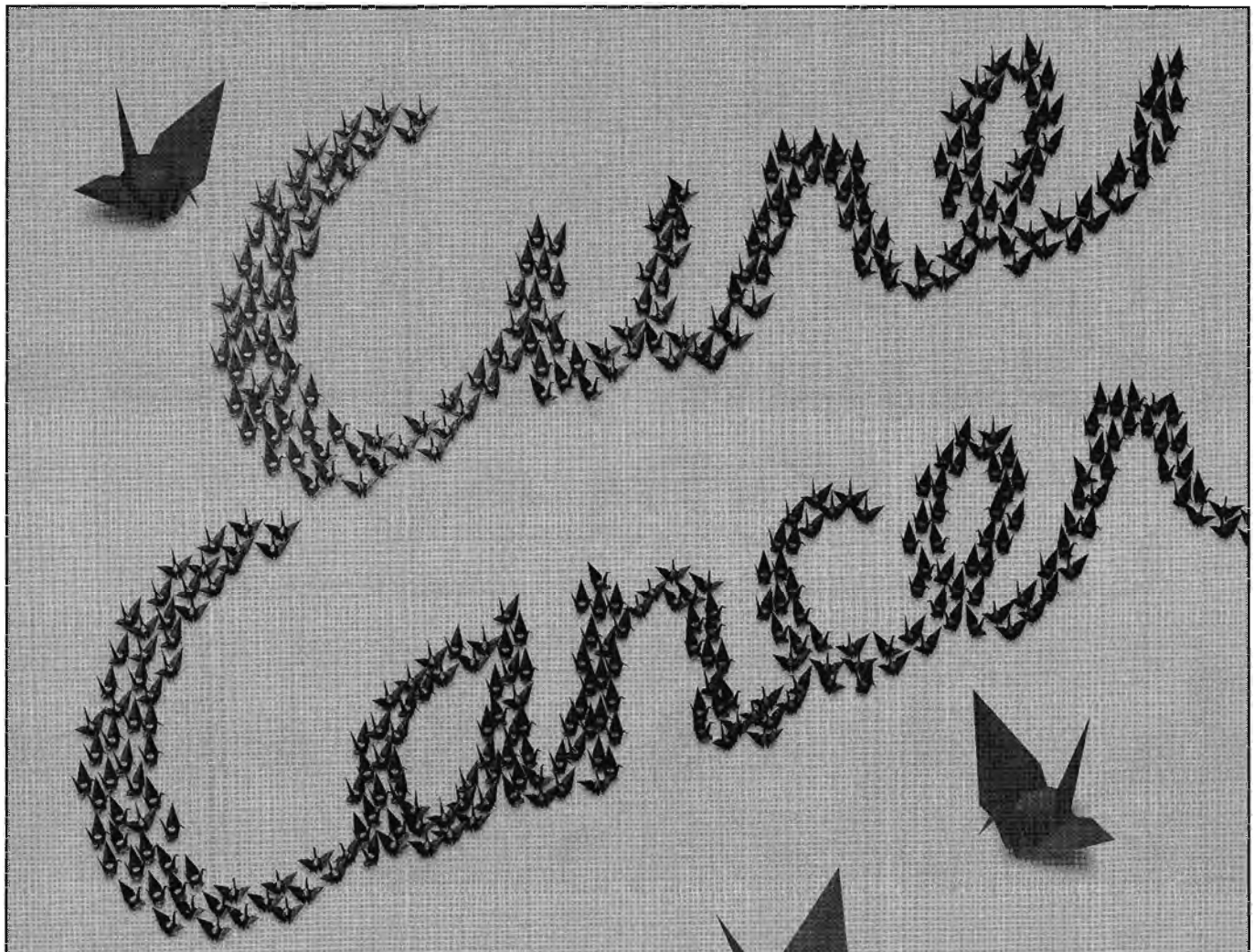
劇薬　処方せん医薬品（注意－医師等の処方せんにより使用すること）　薬価基準収載

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。



製造販売元
ブリストル・マイヤーズ株式会
〒163-1328 東京都新宿区西新宿6
資料請求先：メディカル情報部
TEL：0120-093-507

2014年9月



WE ASPIRE TO CURE CANCER

がんを乗り越えること。それは今を生きる人びとの切なる願いです。
武田薬品は、いま、この願いに正面から向き合うことにしました。
さまざまな不安と戦いながら暮らす患者さんが、少しでも健やかな毎日を送ることができるように。
そして、日々がんに挑み続ける医療関係者のみなさんへ、その情熱の支えになるような治療薬を開発できるように。
「Cure Cancer」という願いを込めて。

「タケダ・オンコロジー」の挑戦は続きます。

タケダ
オンコロジー

※「WE ASPIRE TO CURE CANCER」は、ミレニアム社とタケダの企業ミッションです。折り鶴には、タケダの「Cure Cancer」への強い願いが込められています。

2012年12月作成

〔資料請求先〕
武田薬品工業株式会社
医薬営業本部
〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号

人も地球も健康に Yakult



薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤（イリノテカン塩酸塩水和物）
劇薬・処方せん医薬品※
カンプト®点滴静注 40mg 100mg

抗悪性腫瘍剤（オキサリプラチン）
毒薬・処方せん医薬品※
エルプラット®点滴静注液 50mg 100mg 200mg

遺伝子組換えヒトG-CSF誘導体製剤（ナルトグラスチム（遺伝子組換え））
処方せん医薬品※
ノイアップ®注 25 100 50 250

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤（ゲムシタビン塩酸塩）
劇薬・処方せん医薬品※
ゲムシタビン点滴静注用 200mg 1g「ヤクルト」

抗悪性腫瘍剤（シスプラチン）
毒薬・処方せん医薬品※
シスプラチン点滴静注 10mg 25mg 50mg「マルコ」

活性型葉酸製剤（レボホリナートカルシウム）
処方せん医薬品※
レボホリナート点滴静注用 25mg 100mg「ヤクルト」

副腎癌化学療法、副腎皮質ホルモン合成阻害剤（ミトタン）
劇薬・処方せん医薬品※
オペプリム®

5-HT3受容体拮抗型制吐剤（インジセトロン塩酸塩）
劇薬・処方せん医薬品※
シンセロン®錠 8mg

抗悪性腫瘍剤／チロシンキナーゼインヒビター（イマチニブメシル酸塩）
劇薬・処方せん医薬品※
イマチニブ錠 100mg「ヤクルト」

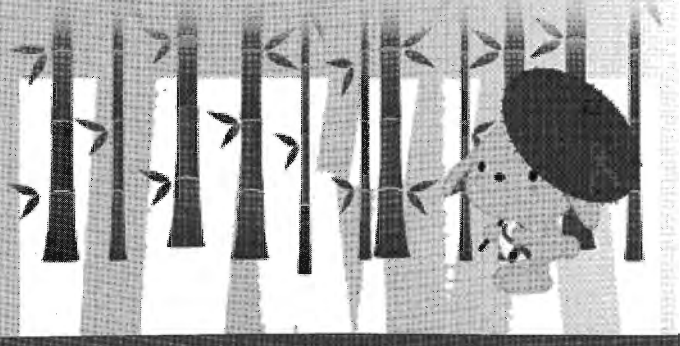
前立腺癌治療剤（フルタミド）
劇薬・処方せん医薬品※
フルタミド錠125「KN」

※注意－医師等の処方せんにより使用すること
●「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

2013年12月作成

（資料請求先）
株式会社ヤクルト本社
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-21 銀座木挽ビル
0120-589601（医薬学術部 くすり相談室）

NK
Speciality, Biosimilar & Generic
plus IVR



薬価基準収載

乳癌治療剤 劇薬・処方せん医薬品*
フェアストン®錠 40・60
トレミフェンクエン酸塩製剤

アロマターゼ阻害剤/閉経後乳癌治療剤 劇薬・処方せん医薬品*
アナストロゾール錠 1mg「NK」
アナストロゾール錠

抗腫瘍性抗生物質製剤 劇薬・処方せん医薬品*
エピルビシン塩酸塩 注射用 10mg 50mg「NK」
注射用エピルビシン塩酸塩

抗腫瘍性抗生物質製剤 劇薬・処方せん医薬品*
エピルビシン塩酸塩注射液 10mg/5mL 50mg/25mL「NK」
エピルビシン塩酸塩注射液

抗悪性腫瘍剤 毒薬・処方せん医薬品*
パクリタキセル注 30mg/5mL 100mg/16.7mL「NK」
パクリタキセル製剤

*注意-医師等の処方せんにより使用すること

日本化薬医薬品情報センター
0120-505-282（フリーダイヤル）
日本化薬医薬品情報
http://mink.nipponkayaku.co.jp/

資料請求先 日本化薬株式会社
東京都千代田区富士見一丁目11番2号

'13.7作成

※警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意などは、製品添付文書をご参照ください。



禁忌(次の患者には投与しないこと)

1. 本剤の成分又は他の顆粒球コロニー形成刺激因子製剤に過敏症の患者
2. 骨髄中の芽球が十分減少していない骨髄性白血病の患者及び末梢血液中に骨髄芽球の認められる骨髄性白血病の患者[芽球が増加することがある](「重要な基本的注意」、「重大な副作用」の項参照)

効能・効果

がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制

<効能・効果に関連する使用上の注意>
1. 臨床試験に組み入れられた患者における発熱性好中球減少症発現のリスク等について、「臨床成績」の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分理解した上で、適応患者の選択を行うこと。
2. 本剤を使用する際には、国内外の最新のガイドライン等を参考にすること。

用法・用量

通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ペグフィルグラスチム(遺伝子組換え)として、3.6mgを化学療法1サイクルあたり1回皮下投与する。

<用法・用量に関連する使用上の注意>
がん化学療法剤の投与開始14日前から投与終了後24時間以内に本剤を投与した場合の安全性は確立していない。

使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
   (1)薬物過敏症の既往歴のある患者
   (2)アレルギー素因のある患者
2. 重要な基本的注意
   (1)ショック、アナフィラキシー等が起こることがあるので、このような場合には本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。また、過敏症等の反応を予測するために、使用に際しては十分な問診を行うとともに、あらかじめ本剤による皮膚反応試験を行うことが望ましい。
   (2)本剤投与により骨痛、背部痛等が起こることがあるので、このような場合には非麻薬性鎮痛剤を投与するなどの適切な処置を行うこと。
   (3)急性骨髄性白血病患者では本剤投与により芽球の増加を促進させることがあるので、定期的に血液検査及び骨髄検査を行い、芽球の増加が認められた場合には本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。
3. 副作用
   国内臨床試験の安全性評価対象例632例中、副作用(臨床検査値異常を含む)の発現例は474例(75.0%)であった。主な副作用(5.0%以上)は、LDH上昇162例(25.6%)、背部痛121例(19.1%)、発熱91例(14.4%)、関節痛90例(14.2%)、倦怠感65例(10.3%)、ALT(GPT)上昇61例(9.7%)、Al-P上昇61例(9.7%)、頭痛53例(8.4%)、筋肉痛51例(8.1%)、AST(GOT)上昇45例(7.1%)、白血球増加45例(7.1%)、好中球増加41例(6.5%)、発疹37例(5.9%)、リンパ球減少35例(5.5%)等であった。[承認時]
   (1)重大な副作用
      1)ショック、アナフィラキシー(頻度不明):ショック、アナフィラキシーを起こすことがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。
      2)間質性肺疾患(0.5%):肺臓炎、肺障害等の間質性肺疾患が発現又は増悪することがあるので、観察を十分に行い、発熱、咳嗽、呼吸困難及び胸部X線検査異常等が認められた場合には、副腎皮質ホルモン剤の投与等を考慮し、本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。
      3)急性呼吸窮迫症候群(頻度不明):急性呼吸窮迫症候群が発現することがあるので、観察を十分に行い、急速に進行する呼吸困難、低酸素血症、両側性びまん性肺浸潤影等の胸部X線異常等が認められた場合には、呼吸管理等の実施を考慮し、本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。
      4)芽球の増加(頻度不明):急性骨髄性白血病において、芽球の増加を促進させることがあるので、観察を十分に行い、芽球の増加が認められた場合には、本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。
      5)脾腫(0.3%)・脾破裂(頻度不明):脾腫、脾破裂が発現することがあるので、血液学的検査値の推移に留意するとともに、腹部超音波検査等により観察を十分に行い、脾臓の急激な腫大が認められた場合には、本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。
      6)毛細血管漏出症候群(頻度不明):毛細血管漏出症候群が発現することがあるので、観察を十分に行い、低血圧、低アルブミン血症、浮腫、肺水腫、胸水、腹水、血液濃縮等が認められた場合には、本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。
      7)Sweet症候群(頻度不明):Sweet症候群が発現することがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。
      8)皮膚血管炎(頻度不明):皮膚血管炎が発現することがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、本剤の投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。

●その他の詳細は製品添付文書をご参照ください。
禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご注意ください。

製造販売元　[資料請求先]
協和発酵キリン株式会社
東京都千代田区大手町一丁目6番1号　〒100-8185
www.kksmile.com

持続型G-CSF製剤　処方箋医薬品注)　薬価基準収載
ジーラスタ®皮下注3.6mg
G-LASTA® Subcutaneous Injection　ペグフィルグラスチム(遺伝子組換え)注射液
注)注意-医師等の処方箋により使用すること

新発売

2014年11月作成
®登録商標